



2022.
Nov

活動の評価の紹介

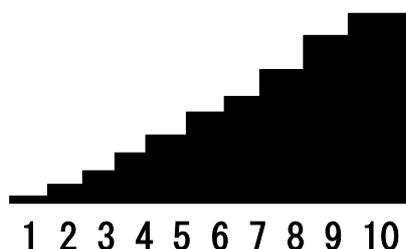
利用者の方にとって活動を行うことは、身体機能・認知機能の維持、精神活動の活性化、QOL の向上が期待されます。効果を最大限に生かすためには、その方に合った活動を提供することが大切です。その活動を見つけるためには**評価を行うこと**が重要です。評価を行うことで、**どのような活動が利用者の方の QOL を高めるか**を検証することができます。

【主観的評価と客観的評価】

評価には、利用者ご自身が回答する「主観的評価」と、観察による「客観的評価」の 2 種類があります。

主観的評価:楽しさや満足感など、ご自身だけが分かる項目を自分で評価します。そのため、数字で示せる方、視線で示す方など利用者の特性に合わせた指標を提示する必要があります(下図参照)。また、質問するにあたり、(1)静かな環境を整える(2)端的に質問することで、回答を得やすくなる場合があります。

<主観的評価>



楽しさは
10!

楽しさは○!

○	×
---	---

客観的評価:視線の方向や身体の位置など、第三者が見て分かる項目を評価します。何らかの理由で意思表示が困難な場合、観察によって活動の楽しさや満足感の評価が可能です(例 2 参照)。

<客観的評価 (A-QOA) >

客観的評価のひとつに、活動の質評価表(Assessment of Quality Of Activity. A-QOA. アコア)があります。A-QOA は、意思表示が困難な方の活動の質を、標準化された 21 の観察項目を使用して4段階で採点・評価します。今年度は試験的に作業療法士が A-QOA を用いて日中活動時の評価を行っています。

A-QOA(一部抜粋)



観察項目
活動の対象に視線を向ける
活動の対象に体を位置付ける
笑顔が見られる
活動の関係した知識・技術を伝える
活動を通して交流する など

展望
利用者の方への必要な支援のために、有益な情報を提供できるよう評価を行っています。今後も評価を積み重ね、利用者の方の QOL 向上に資する活動を模索していきます。

出典:小川, 白井他. A-QOA ビギナーズガイド, 2022